

2012年度活動予定 Activities Scheduled For 2012 2012年度活动预定

10月2日～10月6日  
October 2th～6th

**グリーンITアワード 2012**  
Green IT Awards 2012  
绿色IT奖 2012



千葉・幕張メッセ  
Chiba, Makuhari Messe  
千叶・幕张国际展览中心

「ITの省エネ」「ITによる社会の省エネ」の各分野での優れた製品やサービス、活動などを表彰し紹介します。

Awards will be presented to highlight products, technologies and initiatives making an outstanding contribution in the areas of energy-saving in IT and energy-saving through IT.

在「IT节能」「IT社会节能」各领域,表彰介绍优秀的产品和服务,活动等。

10月2日～10月6日  
October 2th～6th

**グリーンITパビリオン 2012**  
Green IT Pavilion 2012  
绿色IT展览馆 2012



千葉・幕張メッセ  
Chiba, Makuhari Messe  
千叶・幕张国际展览中心

会員企業によるブース展開やプレゼンテーションを通して、最新のグリーンITに関する製品や活動などを紹介します。

We introduce the latest green IT-related information about the award-winning companies and green-IT promotion council activities.

针对最新绿色IT相关活动,对绿色IT获奖企业,绿色IT推进理事会的活动等进行介绍。

10月4日～10月5日  
October 4th～5th

**グリーンIT国際シンポジウム**  
Green IT Symposium 2012  
绿色IT成果发表会 2012

国内外におけるさまざまなグリーンITに関する取り組みや活動について、政府・国内外関連団体・関連企業等が講演を行います。

At this symposium, presentations will be given by government representatives and relevant domestic and foreign associations and companies, etc., on a range of green IT initiatives and activities in Japan and offshore.

关于与国内外的各种绿色IT有关的组织计划和活动,由政府 and 国内外相关团体以及相关企业等发表讲话。

2012年4月～2013年2月(予定)  
April.2012～February.2013(Plan)

**アジア諸国における省エネ診断の実施**  
Energy-Saving survey in Asia  
亚洲各国节能诊断的实施

アジア諸国で省エネ診断・提案等を実施し、成果報告としてセミナーを開催します。日本の最先端技術をアジアへ展開し、各国の省エネ推進に貢献します。

Energy-saving survey and proposals, etc., will be made in a number of Asian countries, followed by seminars reporting on results, helping to introduce Japan's leading-edge technologies into Asia and promoting energy-saving there.

在亚洲各国实施节能诊断和节能提议,就相关成果报告,举办专题讨论会,向亚洲展示日本的最尖端技术,推动各国节能事业的发展。

11月(予定)  
November(Plan)

**アジアグリーンITフォーラム2012**  
Asia Green IT Forum 2012 in Korea  
亚洲绿色IT论坛 2012 韩国

アジア全体としてグリーンITの考え方や活動が普及するよう、各国・地域の政府・業界団体関係者と低炭素社会実現に資するITの重要性について情報交換し、相互協力に向けた認識の共有を図ります。

This is an international conference which will gather government and industrial association representatives from Asia to further promote and disseminate green IT. Participants will exchange views, building a common understanding on the importance of IT in combating global warming.

进一步推动亚洲绿色IT的普及,从亚洲各国中招聘政府和行业团体的相关人员,举办国际会议,以实现全球变暖问题的IT重要性信息的交换和知识共享。



**グリーンIT推進協議会**  
Green IT Promotion Council  
绿色IT推进协议会



協議会概要 Organization Overview 协议会概要



会長  
中鉢 良治  
Chairman  
Ryoji Chubachi  
会长  
中鉢 良治

■ 組織名称 グリーンIT推進協議会  
■ 設立時期 2008年2月1日  
■ 役員  
会長 中鉢 良治  
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 会長  
(ソニー株式会社 代表執行役 副会長)  
副会長 大坪 文雄  
一般社団法人日本電機工業会(JEMA) 会長  
(パナソニック株式会社 代表取締役 会長)  
副会長 堀場 厚  
一般社団法人日本電気計測器工業会(JEMIMA) 会長  
(株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長)  
副会長 下村 節宏  
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) 会長  
(三菱電機株式会社 取締役会長)  
副会長 内田 恒二  
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMA) 会長  
(キヤノン株式会社 相談役 前代表取締役社長)  
副会長 浜口 友一  
一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) 会長  
(株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 相談役)  
副会長 石原 邦夫  
一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(JUAS) 会長  
(東京海上日動火災保険株式会社 取締役会長)

■ Name Green IT Promotion Council  
■ Establishment February 1st, 2008  
■ Executive Board  
Chairman Ryoji Chubachi  
Chairman, Japan Electronics and Information Technology Industries Association (JEITA)  
(Representative Corporate Executive Officer, Vice Chairman, Sony Corporation)  
Vice Chairman Fumio Ohtsubo  
Chairman, Japan Electrical Manufacturers' Association (JEMA)  
(Chairman of the Board, Panasonic Corporation)  
Vice Chairman Atsushi Horiba  
Chairman, Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association (JEMIMA)  
(Chairman, President & CEO, HORIBA, Ltd.)  
Vice Chairman Setsuhiro Shimomura  
Chairman, Communications and Information Network Association of Japan (CIAJ)  
(Chairman, Mitsubishi Electric Corporation)  
Vice Chairman Tsuneji Uchida  
Chairman, Japan Business Machine and Information System Industries Association (JBMA)  
(Senior Adviser, Former President & COO., Canon Inc.)  
Vice Chairman Tomokazu Hamaguchi  
Chairman, Japan Information Technology Services Industry Association (JISA)  
(Senior Corporate Advisor, NTT DATA Corporation)  
Vice Chairman Kunio Ishihara  
Chairman, Japan Users Association of Information Systems (JUAS)  
(Chairman of the Board, Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.)

■ 組織名称 绿色IT推进协议会  
■ 设立日期 2008年2月1日  
■ 干事  
会长 中鉢 良治  
一般社団法人電子信息技术产业协会(JEITA)会长  
(索尼株式会社 代表执行董事 副会長)  
副会长 大坪 文雄  
一般社団法人日本电机工业会(JEMA)会长  
(Panasonic株式会社 董事长)  
副会长 堀场 厚  
一般社団法人日本电气计测器工业会(JEMIMA)会长  
(株式会社 堀场制作所 董事会主席、总裁 & 首席执行官)  
副会长 下村 节宏  
一般社団法人日本信息通信网络产业协会(CIAJ)会长  
(三菱电机株式会社 董事长)  
副会长 内田 恒二  
一般社団法人日本办公机械与信息产业协会(JBMA)会长  
(佳能公司 高级顾问 前总裁兼首席运营官)  
副会长 浜口 友一  
一般社団法人信息服务产业协会(JISA)会长  
(株式会社NTT 数据 资深顾问)  
副会长 石原 邦夫  
一般社団法人日本信息系统・用户协会(JUAS)会长  
(东京海上日动火灾保险株式会社 董事长)

会員数 319社・団体 (2012年7月1日現在)

Membership 319 Companies/Associations (July 1st, 2012)

会員数 319 家公司和团体 (2012年7月1日至今)

ご入会・お問い合わせ Admission and inquiry 入会, 问讯



グリーンIT推進協議会  
事務局 (一社)電子情報技術産業協会 グリーンIT推進室  
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル 5階  
TEL:03-5218-1055 FAX:03-5218-1074

Green IT Promotion Council Management Office  
Japan Electronics and Information Technology Industries Association(JEITA)  
Ote Center Bldg., 1-1-3 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004, Japan  
TEL:+81-3-5218-1055 FAX:+81-3-5218-1074

绿色IT推进协议会  
事務局 (一社)电子信息产业协会 绿色IT推进室  
100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手中心大厦5楼  
TEL:03-5218-1055 FAX:03-5218-1074

▶ <http://www.greenit-pc.jp/>  
▶ <http://www.greenit-pc.jp/e/>



2012



## 設立趣旨

地球温暖化問題は、世界全体で早急に取り組むべき最重要課題です。そして、経済・社会活動と地球環境の調和実現には、画期的な技術革新が必要と考えられています。このためわが国では、長期的視野での新技術開発に向けた「Cool Earth-エネルギー革新技術計画」が策定され、IT・エレクトロニクス技術はこれら新技術の実現に大きく貢献できるものと期待されています。

また、IT・エレクトロニクス技術は、高度な制御・管理による生産・流通・業務の効率化を通じて、あらゆる経済・社会活動の生産性向上、エネルギー効率の向上を可能とし、環境負荷の低減に大きく寄与することが期待されています。

一方、本格的なIT化に伴い、社会で扱う情報量は2025年

には約200倍(06年比)になると見込まれています。この情報爆発によってIT機器の数が大幅に増加するため、IT機器自身の省エネも重要な課題となっています。

こうした中、経済産業省は環境保護と経済成長が両立する社会の実現に向けて「グリーンITイニシアティブ」を提唱し、この具体的な取り組みを推進するため、2008年2月1日に産学官のパートナーシップによる「グリーンIT推進協議会」が設立されました。

今後は、わが国の強みである「ものづくり」と「環境・省エネ」の技術力をてこに、経済・社会・国民生活のあらゆる局面を変革していくとともに、更なる「ITの省エネ(of IT)」と「ITによる省エネ(by IT)」の実現に向けて活動していきます。

## 地球規模でのグリーンIT推進

MOU締結による国際的な連携強化により、地球規模でグリーンITを推進しています。

● MOU締結団体



## 2011年度活動紹介

環境保護と経済成長が両立する社会の実現に向けてグリーンITを推進しています

### データセンタ エネルギー効率に関する世界指標の協調について

日本発のデータセンタのエネルギー効率評価指標(DPPE)に関する国際会議を米国(2011年10月)とイタリア(2012年2月)で開催し、今後日米欧の各国が協調して標準化を推進していくことが合意されました。



### アジアグリーンITフォーラム 2011の開催

アジア全体としてグリーンITの考え方や活動を推進し、相互協力に向けた認識の共有を図るべく、各国・地域の政府・業界団体関係者と低炭素社会実現に資するITの重要性をテーマに国際会議を開催しました。活発な意見交換が行われ、今後の協力体制等を盛り込んだ共同声明を发出了。[参加国・地域] 日本、中国、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、インド、インドネシア、フィリピン



### グリーンITシンポジウム

グリーンITに関する最新情報や動向について紹介するシンポジウムを開催しました。節電・電力見える化に関する講演やグリーンITアワードの受賞企業の講演、各委員会の成果報告など13セッションを実施しました。



### グリーンITハンドブック/ベストプラクティス集の配布とウェブサイト開設

会員企業における最新のグリーンIT技術・製品や省エネ活動について紹介しました。  
\*Green IT Best Practice URL  
<http://greenit-bestpractice.jp/>



### グリーンIT アワード 2011の実施

「ITの省エネ(of IT)」と「ITによる社会の省エネ(by IT)」を両輪とするグリーンITへの取り組みをより一層加速させるため、低炭素社会実現に貢献する優れた製品・技術・取り組み等を表彰しました。(経済産業大臣賞、経済産業省商務情報政策局長賞、協議会会長賞、審査員特別賞)



### グリーンIT パビリオン 2011の展開

CEATEC JAPAN 2011特別企画「スマートコミュニティイノベーション」と連携し、話題性のあるテーマとの相乗効果により幅広い対象に紹介しました。



### 先進省エネ技術動向の調査検討

EMSのあり方について、by IT技術のみならずof IT技術も統合的に捉え、エネルギー情報の見える化から制御へ観点を広げて動向を調査し、今後のグリーンIT推進に向けた要点をまとめました。



### アジアにおける省エネ診断の実施

2011年度は、ベトナム・中国・シンガポールの3ヶ国6企業に対し省エネ診断を実施し、特にベトナム、中国では、現地1企業に対し複数の日本企業で診断を実施し、コンソーシアムによる取組を積極的にアピールしました。診断の結果、省エネの具体的な提案を行い、相手先が継続的な自主活動につながるよう提案しました。



### アジアグリーンITセミナーの開催

省エネ診断を実施したベトナム(ハノイ)、および中国(北京)にて、現地の方々を対象としたセミナーを2012年2月に開催し、省エネ診断による削減効果、省エネ提案を具体的に示しました。診断を受けられた現地企業の方にも感想を述べていただき、日本の優れた省エネ技術のアピールに協力をいただきました。またセミナー会場外に日本企業と現地企業とのビジネスマッチングの場として商談会を実施しました。

### アジアグリーンIT人材育成

受入研修ではアジア8か国から30名のグリーンIT実務担当者を招聘し、座学や現地を通して日本のグリーンITの最新トレンドや技術動向を紹介しました。専門家派遣ではマレーシアで現地セミナーを実施するとともに現地企業を訪問し省エネ状況の調査および改善提案を行いました。



## 2012年度活動概要

### 省エネ指標に関する標準化の推進

日本発のデータセンタ エネルギー効率指標【DPPE】を、日米欧の政府やThe Green Gridをはじめとする民間団体との協議を通じて世界標準指標となるよう活動を行っています。

### 省エネ効果に対する貢献度評価および測定手法の策定

グリーンITの評価手法(ものさし)を確立し、グリーンIT効果(省エネ、CO<sub>2</sub>削減貢献量)の見える化の実現を目指します。

### グリーンITを通じた国際連携

シンポジウムやフォーラムを開催し、アジア諸国の官民を交えた情報交換を実施します。また、世界的なグリーンITアライアンスの構築に向けて、海外のMOU締結団体や各国との連携強化を図ります。

### グリーンITの普及啓発

「ITの省エネ(of IT)」と「ITによる省エネ(by IT)」を活かした環境貢献をCEATEC JAPAN 2012等、国内外の展示会やセミナーで広く周知します。

### アジア諸国における省エネ診断の実施

アジア企業に対して省エネに取り組むための診断・提案等を実施し、アジアにおける地球温暖化対策に貢献します。

### アジアグリーンIT人材育成

受入研修や専門家派遣、その他アジア域内におけるグリーンITの普及啓発を通じて、日本のグリーンITの認知度向上及び普及を図るとともに、日本企業のビジネスの海外展開の一助とします。

### 最新技術動向の情報発信

平成20年度に策定した省エネ技術ロードマップを総合的観点から再構築すると共に、グリーンIT関連技術開発の最新動向について情報発信します。



## Establishment Outline

Global warming is a top-priority issue requiring an urgent, global-scale response.

Recognizing that radical technological innovation has a critical role to play in achieving harmony between our economic and social activities and the global environment, Japan has created the "Cool Earth-Innovative Energy Technology Program" for the development of new technologies from a long-term perspective. IT and electronics technologies stand to make a major contribution to realizing these new technologies.

The greater economic, logistical and administrative efficiency achieved through the sophisticated control and management enabled by IT and electronics technologies should also generate greater productivity and greater energy efficiency in all economic and social activities, contributing substantially to reducing environmental impact.

At the same time, by 2025 the full-scale introduction of IT is

expected to have boosted international information flows by around 200 times the level in 2006. This information explosion will also vastly increase the number of IT devices in use, positioning the energy consumption of IT devices themselves as a key issue.

The Ministry of Economy, Trade and Industry has developed the "Green IT Initiative" as a means of achieving a balance between environmental protection and economic growth. The Green IT Promotion Council was established on 1 February 2008 as an industry-government-university partnership for promoting concrete action under this initiative.

We at the Green IT Promotion Council look forward to utilizing the manufacturing, environment and energy-saving technological capacity that is Japan's strength to transform all aspects of our economy, society and lifestyles, while also working toward further energy-saving in IT devices ('of IT') and through IT devices ('by IT').

## Promoting green IT on a global scale

GIPC promoted green IT on a global scale by strengthening international partnership through MOUs.

● MOU signed organizations



## Activities in FY2011

GIPC is promoting Green IT toward achieving a balance between environmental protection and economic growth.

### Harmonizing world indicators on data center energy efficiency

In October 2011, in the United States, and in February 2012, in Italy, we held international conferences on the Japanese Data Centre Performance Per Energy (DPPE) efficiency index. Participants reached a consensus on promoting standardization in cooperation with Japan, the U.S. and EU.



In order to verify the effectiveness and the change of indicators, we carried out projects to measure DPPE in data centers in Japan and two other Asian countries.

### Asia Green IT Forum 2011

On the theme of the importance of IT in helping to achieve a low-carbon society, we held an international conference with representatives of governments and industrial associations in Asia to discuss ideas and activities regarding Green IT across the region and to share understanding and promote cooperation. We saw lively discussion on Green IT and the formulation of a joint declaration that includes future cooperation.



Participants: Japan, China, South Korea, Malaysia, Singapore, Thailand, Vietnam, Chinese Taipei, India, Indonesia, and Philippines

### Green IT Symposium

We held a symposium to introduce the latest information and trends on Green IT. Thirteen sessions were held, including presentations on power saving and visualization of power, speeches by Green IT Award winners, and reports from the committees.



### Distribution of Green IT Handbook/Best Practices and website creation

These highlights the latest Green IT technologies and products and energy-saving practices of member companies.



\*Green IT Best Practice URL  
<http://greenit-bestpractice.jp/en/>

### Green IT Awards 2011

To further accelerate corporate IT initiatives, we presented awards for products, technologies and efforts making an outstanding contribution to a low-carbon society closely connected with energy-saving of IT and by IT.



(METI Minister's Awards, METI Commerce and Information Policy Director-General's Awards, Green IT Promotion Council Chairman's Awards, Green IT Award Judging Committee Special Awards)

## Activities in FY2012

### Energy-saving index standardization

GIPC is working to establish the Japanese Data Center Performance Per Energy (DPPE) energy efficiency index as an international standard through consultation with governments in Japan, the U.S. and Europe and private-sector associations such as The Green Grid.

### Assessment of energy-saving contribution and creation of measurement tools

We are establishing Green IT assessment benchmarks toward making the effects of Green IT (energy-saving, quantitative evaluation of contribution to reducing CO<sub>2</sub> emissions) more visible.

### International Green IT partnership

GIPC is holding international symposiums and forums to exchange information with Asian governments and private-sector representatives. We are also strengthening partnerships with MOU associations and foreign countries to build a global Green IT alliance.

### Green IT Pavilion 2011

In cooperation with "Smart Community Innovation," the special project from CEATEC JAPAN 2011, we provided information about Green IT to educate the wider public.



### Study on pioneering energy-saving technologies

As for the concept of EMS, we looked at both "by IT" and "of IT" technologies, expanded the scope from the visualization of energy information to energy control, studied trends, and identified the key points for promoting Green IT activities.



### Energy-saving survey in Asia

In FY2011, we conducted an energy-saving survey of six companies in Vietnam, China, and Singapore. In Vietnam and China, two Japanese companies assisted each applicant to help them understand the effectiveness of consortiums. Based on the survey, we made specific proposals to lead the countries towards continuous independent energy-saving.

### Asia Green IT Seminar

In Vietnam (Hanoi) and China (Beijing), where energy-saving survey were made, we held seminars in February 2012 for the local people. We showed them, through the energy-saving survey, the reduction in energy consumption and presented energy-saving proposals. We asked the applicants of local companies to comment on the survey and recommend excellent energy-saving technologies in Japan. Also we held business matching discussion between Japanese and local companies.



### Development of Green IT human resources in Asia

We invited 30 Green IT personnel from eight Asian countries for training and introduced Japanese latest green IT technology through lectures and site visits. For dispatching experts program to Malaysia, We held seminar in KL, visited local companies to carry out the survey, and gave suggestions to improve energy conservation.



### Green IT dissemination and education

We are using CEATEC Japan 2012 and other fairs and seminars in Japan and offshore to educate the wider public on the environmental contribution of energy-saving in IT and through IT.

### Energy-saving survey in Asia

We will conduct the survey and present proposals to Asian companies to help them achieve energy-saving, thus curbing global warming in Asia.

### Development of Green IT human resources in Asia

We will conduct training in Japan, dispatch experts and disseminate Green IT in Asian countries to improve awareness of Japan's Green IT, helping Japanese companies' development overseas.

### Delivery of information on latest technologies

We will update our road map on energy-saving technologies, which was created in FY2008, and distribute information on the latest trends of Green IT technology development.

## 设立目的

地球变暖问题已成为当前急需全世界共同努力解决的课题。为实现经济和社会活动以及地球环境相互协调发展,具有划时代意义的技术创新已被人们认为是完全必须的。在我国,着眼长期发展,制定了面向新技术的「Cool Earth-能源革新计划」。期待该项计划能够为IT和电子工学技术等新技术的实现做出卓越的贡献

另外,IT和电子工学技术通过高度的控制和管理,使生产,流通以及业务更具效率化,期待通过提高各个经济,社会活动的生产性,从而提高能源效率,最大限度地减少环境负荷。

一方面,随着社会真正的IT化,预计2025年社

会所处理的信息量大约是2006年处理量的200倍左右。由此信息量的激增,IT设备的数量大幅增加,IT设备自身的节能也成为目前非常重要的讨论课题。

在这样的一个环境下,经济产业省大力提倡以实现环境保护和经济成长并存的「绿色IT初步行动」,为了具体地推动此项行动计划的落实,2008年2月1日,产学合作伙伴设立了「绿色IT推进议会」。

在今后,将利用我国「创造」和「环境·节能」等技术优势,使经济,社会,国民生活等各个方面发生变革,同时展开更多的可以实现「节能IT(of IT)」和「利用IT节能(by IT)」的活动。

## 推进世界规模的绿色IT

签订MOU协议,强化国际性的合作,推进世界规模的绿色IT

MOU签署组织



## 2011年度活动介绍

### 推进以实现社会环境保护与经济成长并存的绿色IT

#### 数据中心能源效率的世界指标的协商

在美国(2011年10月)和意大利(2012年2月)举办了出自日本的数据中心能源效率评价指标(DPPE)的国际会议,达成了今后日美欧各国推进协议标准化的协议。

另外,为了验证指标的有效性和改善点,在日本国内以及亚洲(2个国家)的数据中心里展开对DPPE的测定与验证。



#### 绿色IT展览会 2011

与 CEATEC JAPAN 2011 特别计划「智能化共同体革新」合作,与带有话题性的主题发挥乘数效应,面向更广泛的对象进行了介绍。



#### 先进节能技术动向的调查检讨

关于 EMS 的目标,不仅局限于 by IT 技术,也融进 of IT 技术,将视野从能源信息的可视化扩大到可控制化进行动向调查,为今后推进绿色 IT 活动总结了要点。



#### 亚洲的节能诊断的实施

2011年,对越南、中国、新加坡3国6家企业实施了节能诊断,特别是在越南和中国,对当地1家企业组织多家日本公司实施诊断,积极呼吁共同推进活动展开。发表了诊断的结果,节能具体的建议,对成员国开展自主活动提出了建议。

#### 亚洲的绿色IT座谈会

在实施节能诊断的越南(河内)、中国(北京),于2012年2月召开了以当地有关人员为对象的研讨会。具体显示了节能诊断带来的节能效果,并提出了具体的节能建议。并请接受诊断的当地企业发表感想,进一步体现了日本出色的节能技术。还在研讨会会场外,举办了以日本企业与当地企业进行商贸合作为目的的商务座谈会。



#### 亚洲绿色IT人材培养

作为研修人员,接待了来自亚洲8个国家30名绿色IT业务担当者,通过举办开讲座和现场参观活动介绍日本绿色IT的最新趋势和技术动向。还派遣专家前往马来西亚,举办了当地研讨会,同时还访问了当地企业,调查了节能情况并提出了改善建议。



#### 亚洲绿色IT论坛 2011的举办

全亚洲有必要促进相互合作,谋求共识,共同推进绿色IT构想和活动的开展,为此,与各国和地区的政府及业界团体有关人士一起,共同举办了以有助于实现低碳社会的IT的重要性为主题的国际会议。

会上,意见交换非常活跃,并发表了推进合作体制建设等主张的共同声明。

[参加国家和地区] 日本、中国、韩国、马来西亚、新加坡、泰国、越南、台湾、印度、印度尼西亚、菲律宾



#### 绿色IT国际成果发表会

举办了以绿色IT相关的最新信息以及动向为主的成果发表会。

举办了有关节电·耗电可视化以及绿色IT获奖企业的演讲,此外,各委员会还召开了成果汇报会等。共安排了13个专题会场。



#### 绿色IT手册/最好的实践集的发布和网站开设

介绍了会员企业的最新绿色IT技术,产品,节能活动等。

\*Green IT Best Practice URL  
<http://greenit-bestpractice.jp/en/>



#### 绿色IT奖 2011的实施

为了加快以「节能IT(of IT)」和「利用IT节能(by IT)」为主的绿色IT行动的发展,表彰那些对低碳社会作出贡献的产品,技术和行动。

(经济产业大奖,经济产业商务情报政策局长奖,协议会会长奖,审查员特别奖)



## 2012年度活动概要

### 关于节能指标标准化的推进

通过和日本,美国,欧洲政府,The Green Grid 等为先头的民间团体的协商,使日本的数据中心能源效率指标「DPPE」成为世界标准指标。

### 制定节能效果贡献度的评价和测定手法的制定

确立绿色IT评价手法(标准),以实现绿色IT效果(节能,CO<sub>2</sub>减排贡献量)的可视化为目标。

### 绿色IT的国际合作

举办国际讨论会和论坛,与亚洲各国的政府和国民交换信息。另外,为构建全球性的绿色IT同盟,加强与海外的MOU缔约团体和各国的合作。

### 绿色IT的普及与启发

在 CEATEC JAPAN 2012 等国内外展会和研讨会上,宣传「节能IT(of IT)」和「利用IT节能(by IT)」所作出的卓越的环境贡献。

### 亚洲各国的节能诊断的实施

为进一步落实亚洲企业的节能工作提供节能诊断和改善建议等,为亚洲的全球变暖对策作出贡献。

### 亚洲绿色IT人材培养

通过接收海外研修和派遣专家及其它在亚洲地区内普及和启发促进绿色IT活动,争取提高对日本绿色IT的认识和加快普及,与此同时,也为日本企业在海外的商务展开提供一些帮助。

### 最新技术动向的信息发布

以综合的观点对2008年制定的节能技术行程图进行再构建,同时就绿色IT相关技术开发的最新动态发布信息。